

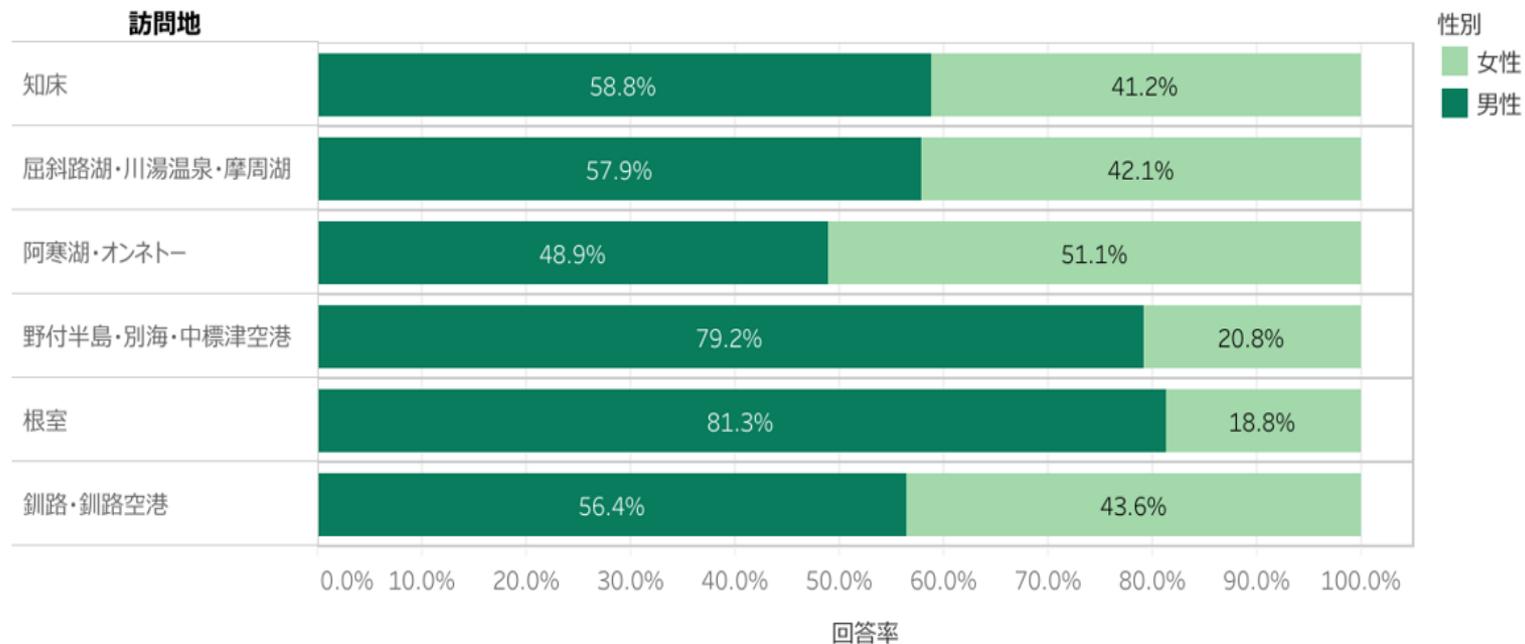
# 道東地域における観光の現状と課題 及び近年の修学旅行動向



公益社団法人北海道観光機構 プロモーション部 長野 博樹

# 北海道来訪者満足度調査および観光産業経済効果調査事業結果 道東地域(特に北方領土隣接地域)における観光の現状 調査：(公社)北海道観光機構

## 性別(訪問地別)



データ更新日：2025/03/11

- ◆ サンプル数が少ない訪問地はフィルタで選択できないようになっている。
- ◆ 訪問地「すべて」を選択してデータをダウンロードすることで、フィルタにない訪問地のデータも取得できる。

出典：北海道観光機構「令和6年度北海道来訪者満足度調査」

# 同行者

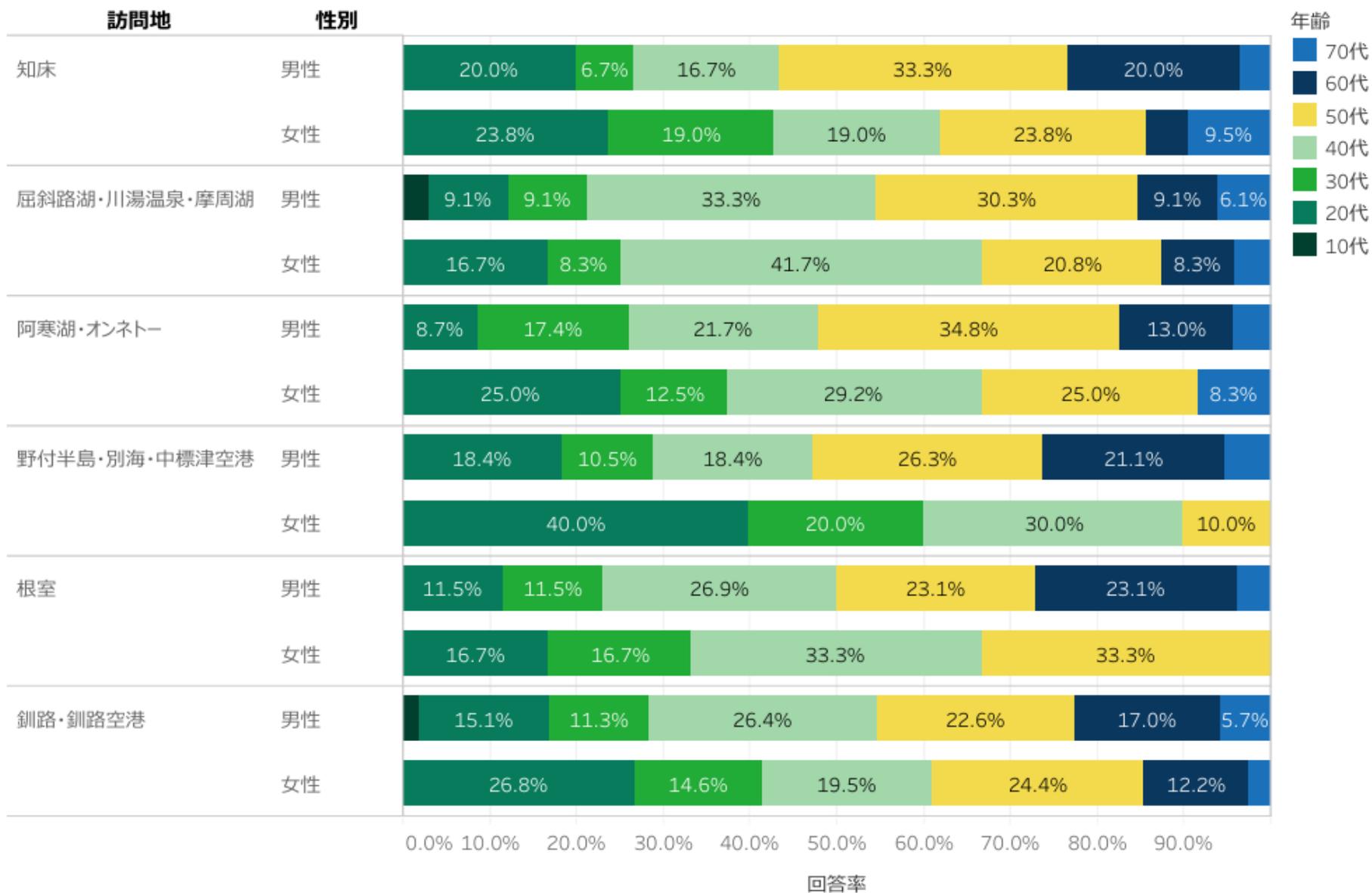
同行者	知床	屈斜路湖・川湯温泉・ 摩周湖	阿寒湖・オンネトー	野付半島・別海・ 中標津空港	根室	釧路・釧路空港
一人旅	38.1%	30.2%	27.4%	47.0%	42.7%	36.4%
夫婦・パートナー	34.5%	37.7%	42.7%	27.7%	32.6%	35.5%
家族旅行（子供連れ）	7.9%	9.4%	12.1%	2.4%	3.4%	9.7%
その他家族（両親・姉妹など）	3.6%	5.7%	4.8%	2.4%	3.4%	4.6%
親戚を含む家族旅行			0.8%			0.5%
友人・知人	13.7%	12.3%	9.7%	13.3%	14.6%	12.4%
地域やサークル、団体の仲間			0.8%			0.5%
仕事・職場関係	3.6%	5.7%	2.4%	8.4%	4.5%	0.9%
	0.0% 100.0%	0.0% 100.0%	0.0% 100.0%	0.0% 100.0%	0.0% 100.0%	0.0% 100.0%
	回答率	回答率	回答率	回答率	回答率	回答率

データ更新日：2025/03/12

- ◆複数回答を許容しているため合計値は100%にならない。
- ◆サンプル数が少ない訪問地はフィルタで選択できないようになっている。
- ◆訪問地「すべて」を選択してデータをダウンロードすることで、フィルタにない訪問地のデータも取得できる。

出典：北海道観光機構「令和6年度北海道来訪者満足度調査」

# 年齢（訪問地別）



## 旅行のきっかけ 着地別

	知床	屈斜路湖・川湯温..	阿寒湖・オンネトー	野付半島・別海・...	根室
テレビ、ラジオ、雑誌、新聞で見聞きして	12.2%	14.2%	16.1%	7.2%	12.4%
インターネット、SNSで話題になっていた	10.1%	7.5%	11.3%	9.6%	13.5%
休みがとれた	35.3%	35.8%	35.5%	28.9%	27.0%
お目当てのイベントなどがあった	0.7%	0.9%	1.6%	1.2%	3.4%
ふるさと納税の返礼品がきっかけ	1.4%	0.9%		1.2%	
北海道物産展で興味をもった	2.2%	0.9%	1.6%		3.4%
北海道どさんこプラザで興味をもった	1.4%	0.9%		1.2%	
その他	32.4%	31.1%	33.1%	41.0%	32.6%
特にない	18.7%	17.0%	15.3%	22.9%	24.7%
	0.0% 100.0%	0.0% 100.0%	0.0% 100.0%	0.0% 100.0%	0.0% 100.0%
	回答率	回答率	回答率	回答率	回答率

データ更新日：2025/03/12

- ◆複数回答を許容しているため合計値は100%にならない。
- ◆サンプル数が少ない訪問地はフィルタで選択できないようになっている。
- ◆訪問地「すべて」を選択してデータをダウンロードすることで、フィルタにない訪問地のデータも取得できる。

出典：北海道観光機構「令和6年度北海道来訪者満足度調査」

# 旅行中にしたこと

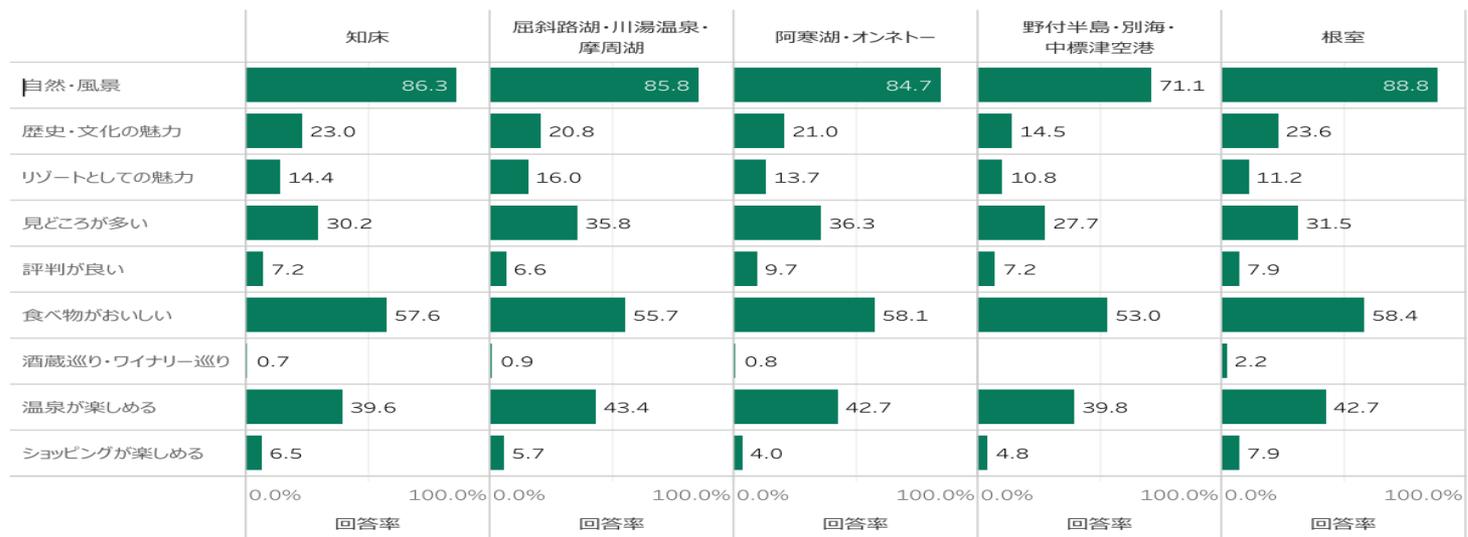
	知床		屈斜路湖・川湯温泉・摩周湖		阿寒湖・オンネトー		野付半島・別海・中標津空港		根室		釧路・釧路空港	
和風旅館の宿泊	5.9%		10.5%		8.5%		4.2%		3.1%		6.4%	
自然・景勝地観光・四季の体感	56.9%		50.9%		51.1%		43.8%		59.4%		40.4%	
繁華街の街歩き	3.9%		1.8%		6.4%		6.3%		6.3%		14.9%	
温泉入浴	58.8%		47.4%		57.4%		47.9%		50.0%		43.6%	
サウナ（通常の温泉入浴以外）	3.9%		1.8%		4.3%		2.1%				5.3%	
北海道の食を楽しむ	39.2%		31.6%		42.6%		35.4%		43.8%		38.3%	
産業遺産など産業観光			3.5%				2.1%		3.1%		2.1%	
北海道の酒を楽しむ（日本酒・ワイン等）	2.0%		1.8%		10.6%		2.1%		6.3%		6.4%	
ショッピング（一般）	3.9%		3.5%				2.1%				2.1%	
ショッピング（特産品）	17.6%		22.8%		21.3%		25.0%		31.3%		25.5%	
美術館・博物館・動植物園・水族館	9.8%		8.8%		10.6%		6.3%		6.3%		7.4%	
アウトドアアクティビティ（登山・川下り・自..	3.9%		1.8%		4.3%						3.2%	
キャンプ・グランピング	2.0%		12.3%				2.1%		6.3%		4.3%	
ホエール、バードウォッチング	9.8%		1.8%		6.4%		10.4%		12.5%		2.1%	
カメラ・写真撮影	21.6%		17.5%		19.1%		27.1%		25.0%		12.8%	
ドライブ	41.2%		40.4%		36.2%		31.3%		37.5%		36.2%	
道の駅めぐり	43.1%		40.4%		44.7%		39.6%		43.8%		38.3%	
スポーツ観戦							2.1%				3.2%	
	0	50	100	0	50	100	0	50	100	0	50	100
	比率		比率		比率		比率		比率		比率	

データ更新日：2025/03/11

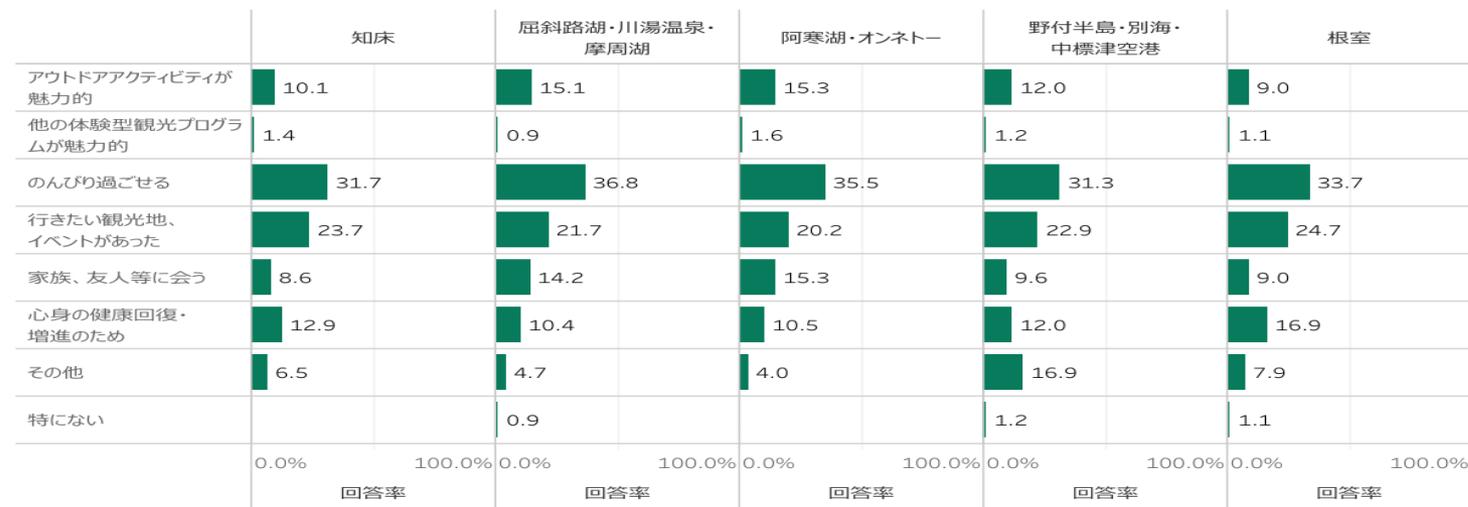
- ◆複数回答を許容しているため合計値は100%にならない。
- ◆サンプル数が少ない訪問地はフィルタで選択できないようになっている。
- ◆訪問地「すべて」を選択してデータをダウンロードすることで、フィルタにない訪問地のデータも取得できる。

出典：北海道観光機構「令和6年度北海道来訪者満足度調査」

# 観光旅行地選択理由

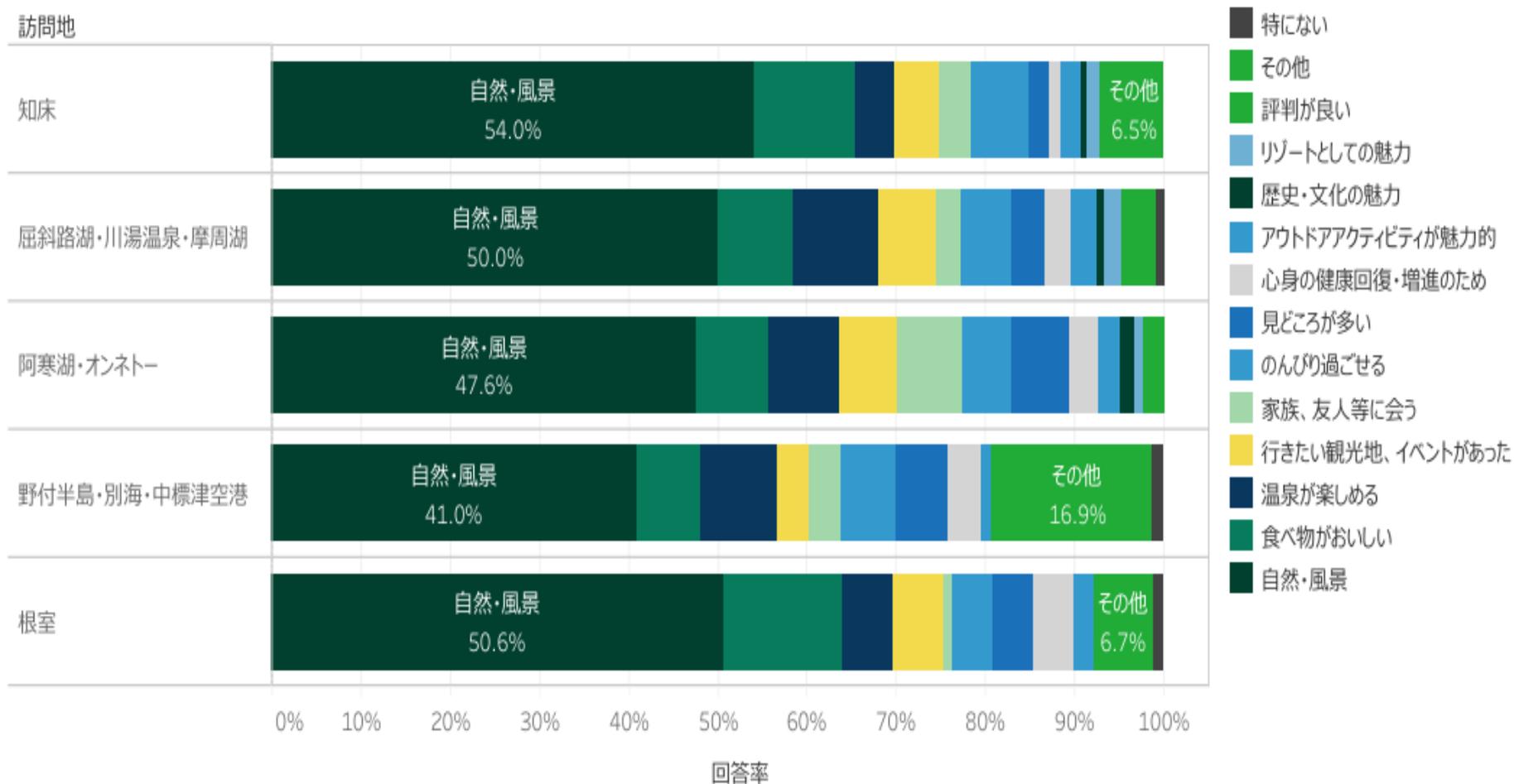


データ更新日：2025/03/12

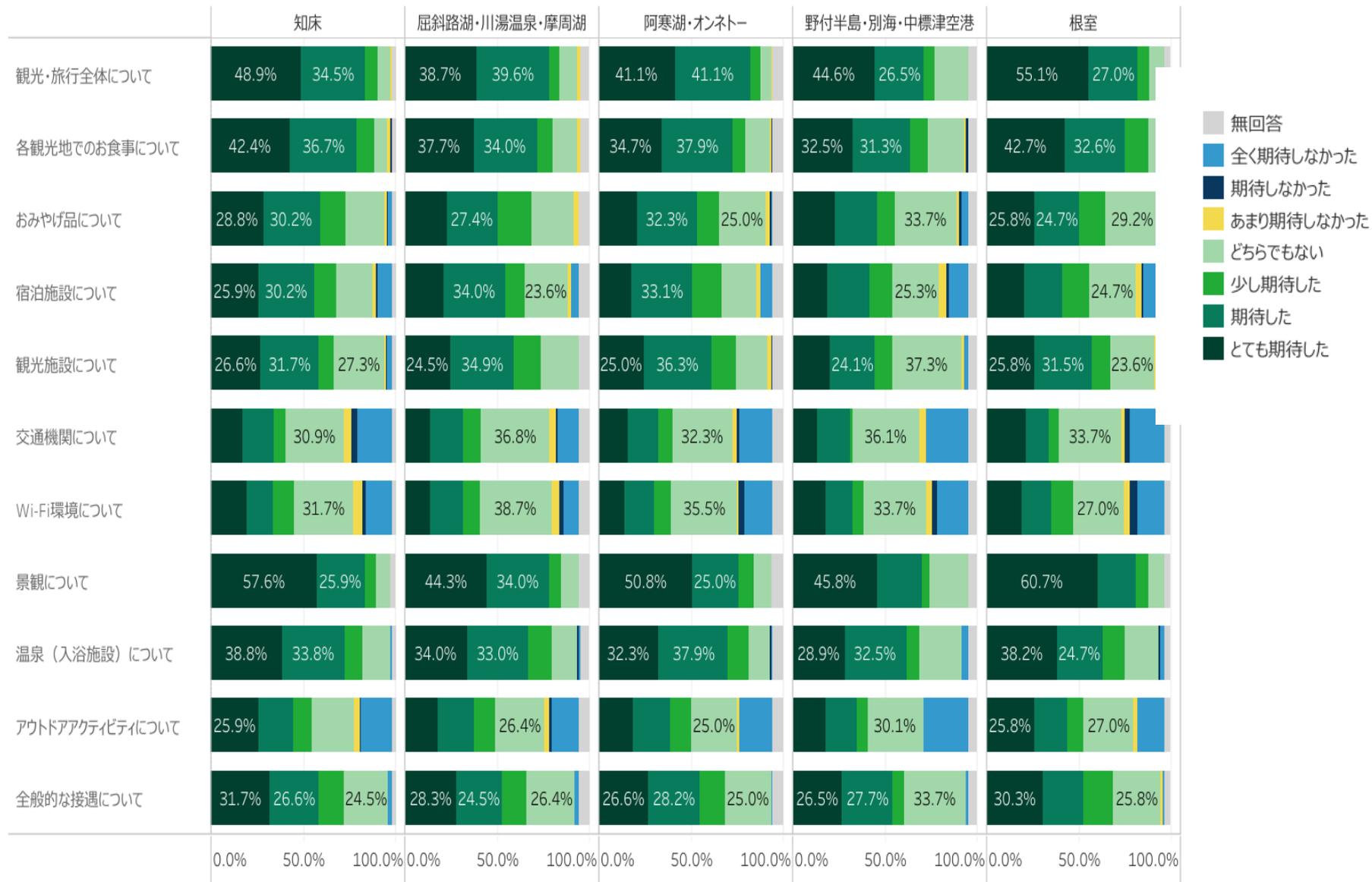


データ更新日：2025/03/12

## 最も重要視した選択理由（訪問地別）

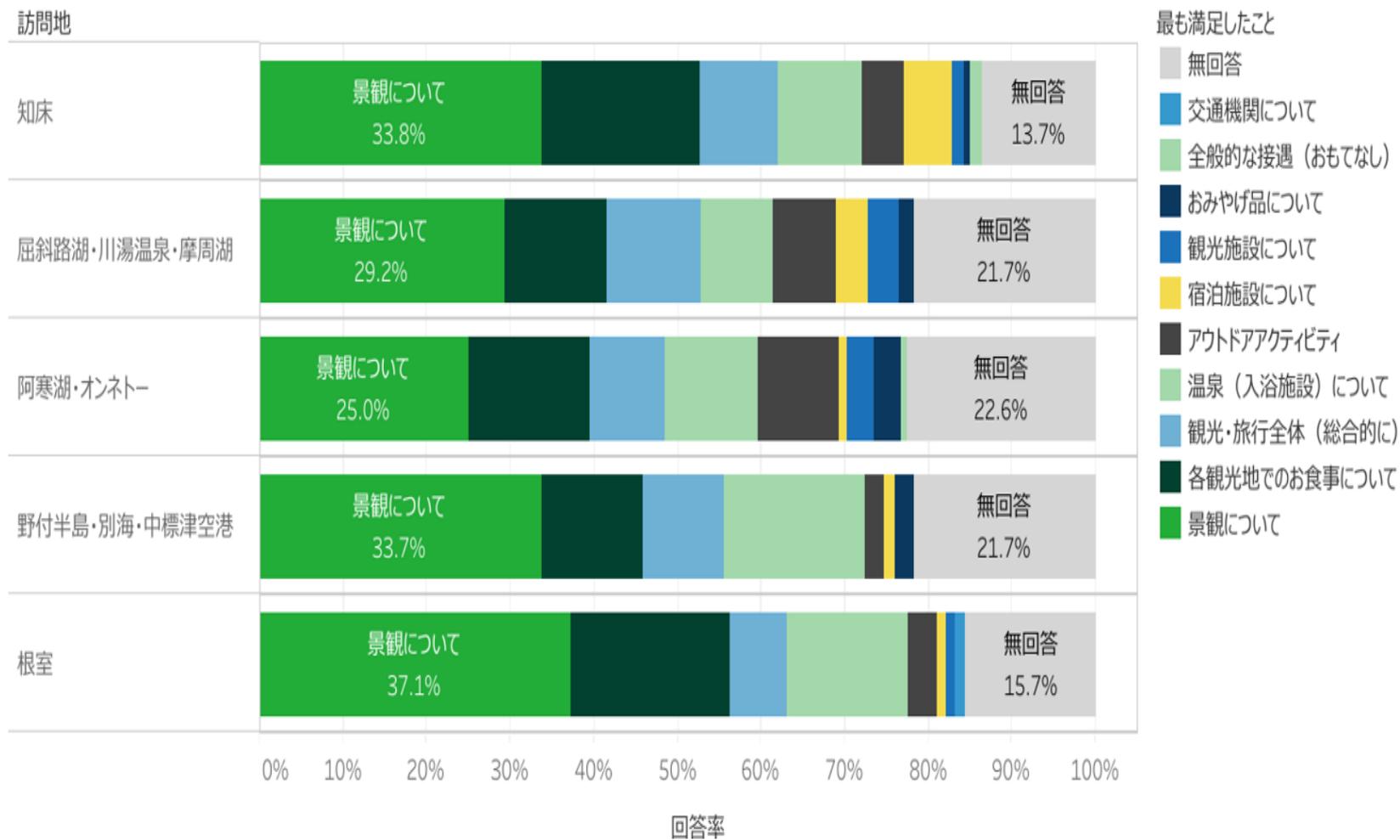


# 道内旅行に対する期待度



- 無回答
- 全く期待しなかった
- 期待しなかった
- あまり期待しなかった
- どちらでもない
- 少し期待した
- 期待した
- とても期待した

## 最も満足したこと（訪問地別）



# 北海道への再訪意向（訪問地別）



## ■ 来訪者国籍（エリア） 2024年

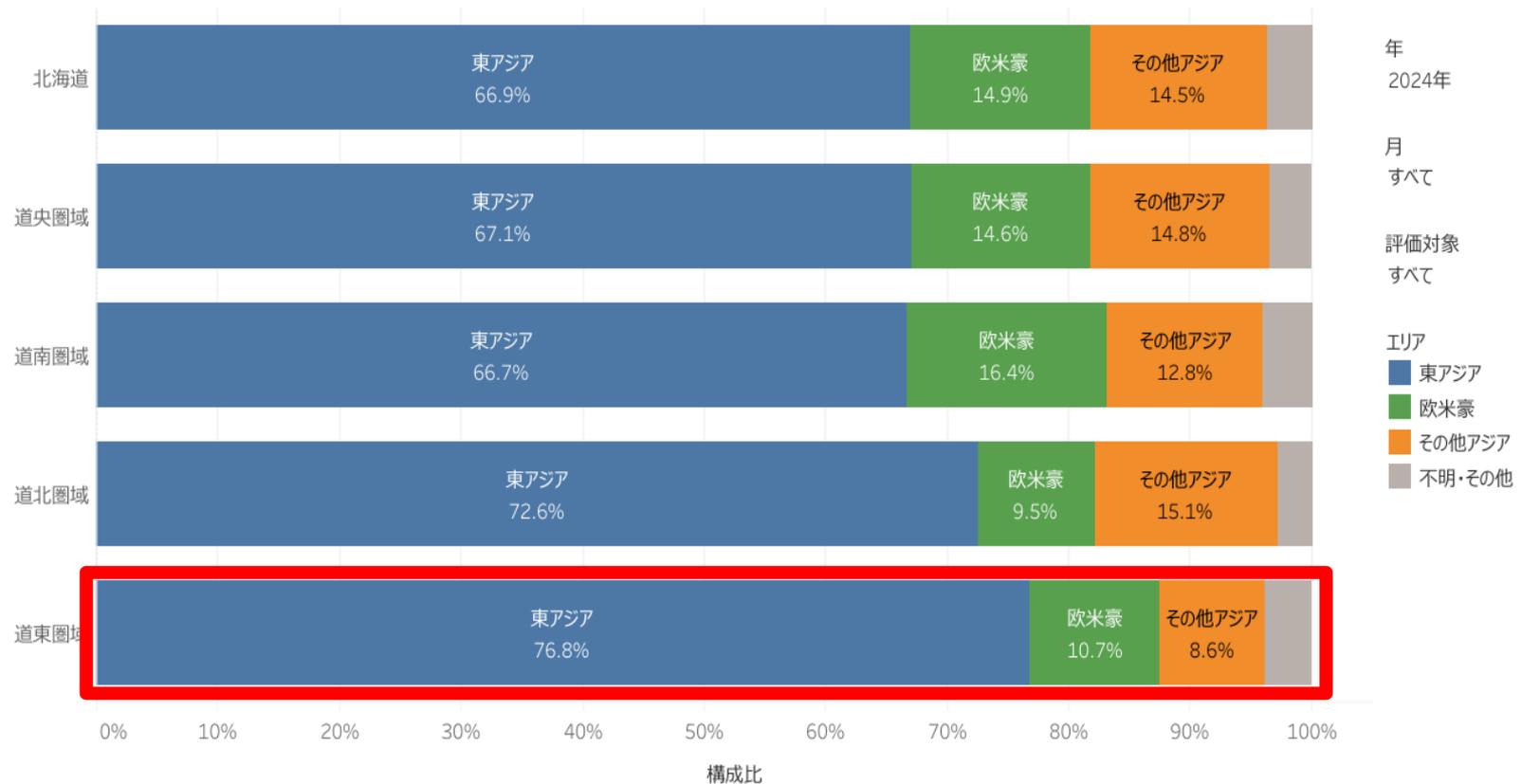
全体では、東アジア約66.9%、欧米豪約14.9%、その他アジア14.5%。

道東は、東アジア約76.8%、欧米豪10.7%、その他アジア8.6%。他3圏域に比べて東アジア比率が高い。

北海道の観光統計データサイト <https://statistics.visit-hokkaido.jp/>

©北海道観光機構

### 来訪者国籍（エリア）



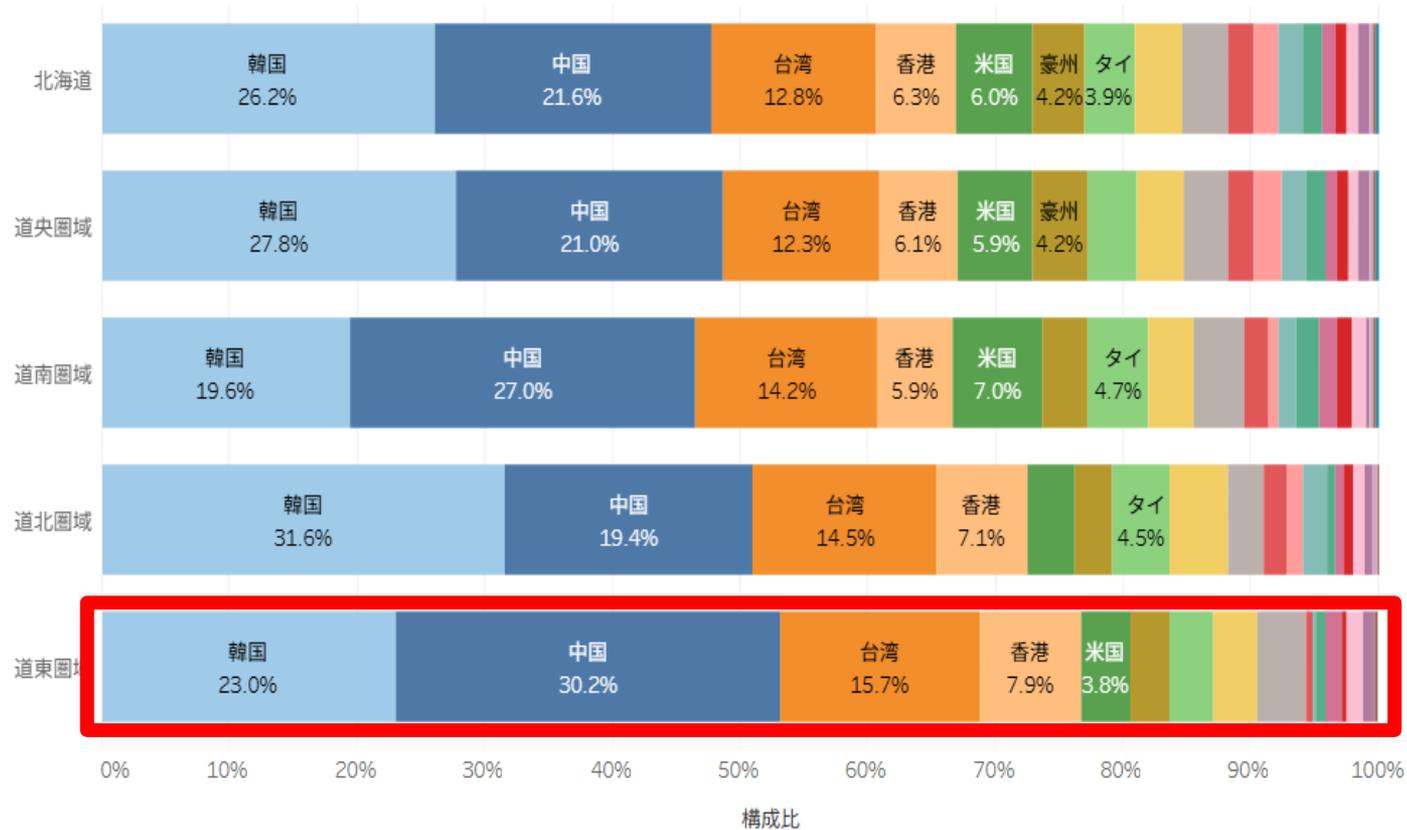
# ■ 来訪者国籍・地域 別 2024年

全道では、韓国26.2%、中国21.6%、台湾12.8%、香港6.3%、米国6.0%の順に高い。  
道東は、中国30.2%、韓国23.0%、台湾15.7%、香港7.9%、米国3.8%。

北海道の観光統計データサイト <https://statistics.visit-hokkaido.jp/>

©北海道観光機構

## 来訪者国籍



集計単位  
4圏域

年  
2024年

月  
(すべて)

評価対象  
(すべて)

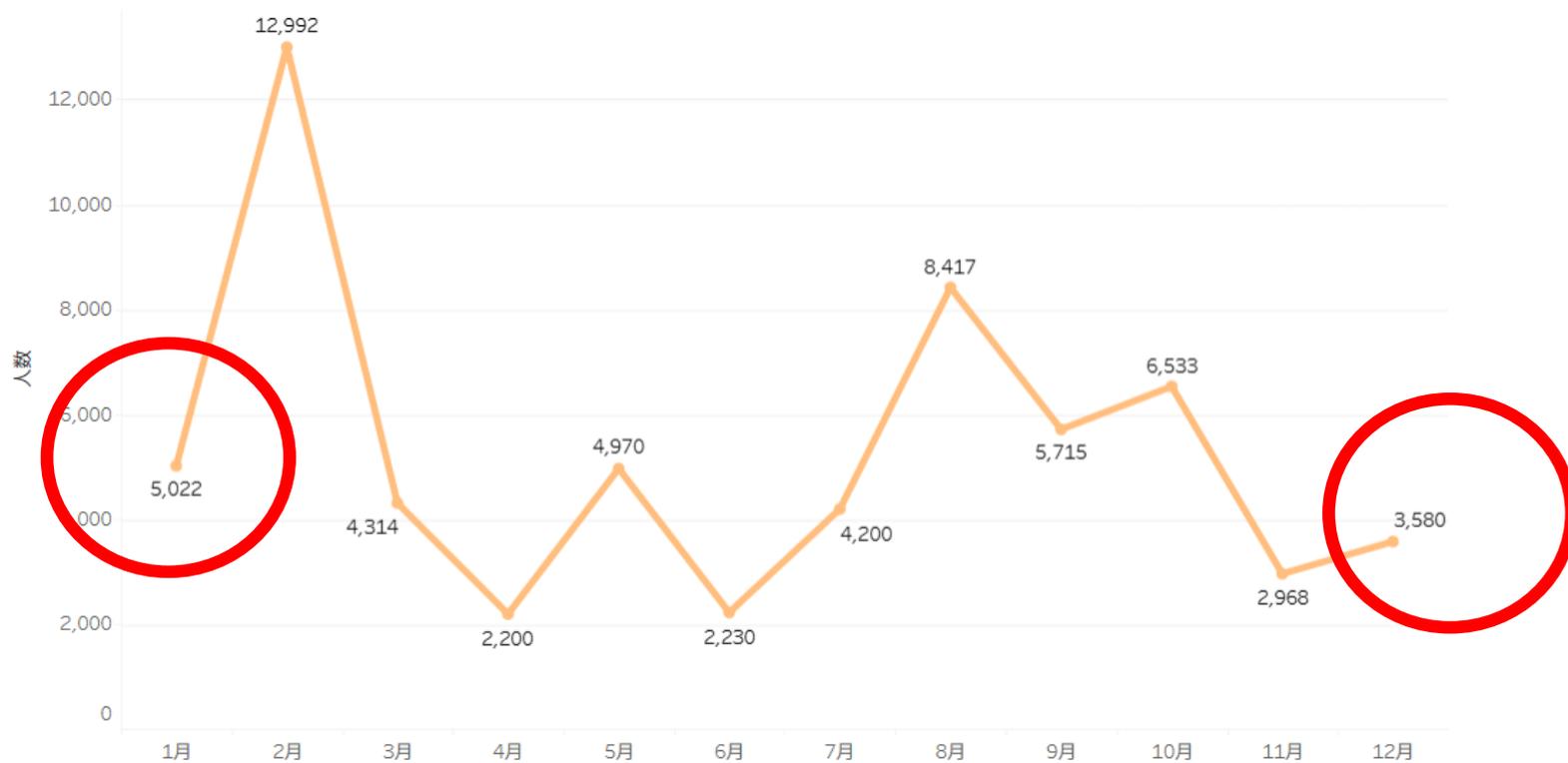
- 国籍
- 韓国
  - 中国
  - 台湾
  - 香港
  - 米国
  - 豪州
  - タイ
  - シンガポール
  - 不明・その他
  - インドネシア
  - フィリピン
  - マレーシア
  - カナダ
  - ドイツ
  - 英国

出典：ナビタイムジャパン「インバウンドGPSデータ」

## ■ 月別来訪者数 2024 道東

道東では、2月の人流は多いが、1月と12月の人流は少ない。

月別来訪者数



出典：ナビタイムジャパン「インバウンドGPSデータ」

# 道東地域における観光の現状と課題

## ■ 観光の現状

- 一人旅や少人数旅行が主流(訪問率37.0%)
- 人気地域:知床、根室、野付半島・別海・中標津空港
- 野付・別海・中標津では若年層女性や男性訪問者が多い
- 特産品ショッピングやアウトドア活動(ホエール・バードウォッチング等)が人気
- 訪問理由に「その他」が多く、北方領土への関心が潜在的に含まれる可能性
- 他には鉄道・城(チャシ)・神社・マンホールカード・かに族、みちばち族のリバイバル等

## ■ 観光の課題

- 「眺めるだけ」では観光コンテンツとしての魅力が弱い
- 若年層やインバウンド層への訴求力を高める必要あり

## ■ 今後の展望

- 北方領土を物語性・体験型コンテンツとして再構築する可能性
- アニメ・映画・文学などメディアを活用した観光誘導が有効
- 道東出身の作家・クリエイターとの連携による地域ブランディングが期待される

# 全国の教育旅行の現状

コロナ以降、修学旅行に変化が現れている

- 物価の高騰
- 温暖化(熱中症のリスク増大)
- 貸切バスのガイド、ドライバーが不足している
- オーバーツーリズム
- 新学習指導要領の導入 ⇒ **総合的な探究の時間**



今までの修学旅行形態「見る、体験する」から「考える」が加わる

社会への関心と参画

持続可能な社会づくり

将来の自己形成

グローバル化への積極的対応

若い時代に本物に触れることの意義と目的

探究学習とは生徒自ら課題を設定し、解決に向けて情報を収集、整理、分析し周囲の人々と意見交換や協働しながら進めていく学習活動

# 全国の教育旅行の傾向

旅費の高騰      安近短になる傾向      →      根室地域まで来れない？



「北方領土を目で見る運動」修学旅行等誘致事業の存在  
〈画期的な補助事業〉



更なる拡大が誘致に繋がる可能性がある

温暖化      熱中症のリスクが増大する傾向になり、暑い地域や季節を避け  
涼しい地域に目が向けられ始めている。

貸切バスのガイド、ドライバーの不足

できるだけ長距離を避け、拘束時間を減ら傾向  
できるだけ安価になるよう行程を工夫

# 根室地域の修学旅行の特徴

令和6年度実績 27校 3,207名

※根室管内教育旅行誘致推進協議会調査

圧倒的な自然景観

地域独自の歴史

北方領土の存在



「探究」素材の宝庫

- ・環境問題
- ・領土問題
- ・人口問題
- ・二次交通
- ・情報格差
- ・観光促進
- ・一次産業
- ・自然保護
- ・医療サービス
- ・熊問題
- ・まちづくり
- ・共生(人・自然等)
- ・過疎化
- ・防災
- など

# 根室地域の教育旅行誘致拡大に向けて

「探究」を推進している学校にアプローチ

⇒対象は全国の高等学校 ⇒ 旅費に左右されずらい私立高校

もっと根室地域の修学旅行を知ってもらう

- ・情報発信の強化
- ・関心のある学校や先生への積極的なアプローチ
  - 〈根室地域で修学旅行を実施したい学校は数多くある〉
- ・実現するためには旅行代金の助成が重要
- ・学校のテーマに沿ったオーダーメイド型の行程を受け入れる
- ・地域全体で連携を取りながら取り組む
- ・実施校(訪問校)とのパイプを強固にする
- ・道東ファンの先生を作り宣伝役になってもらう

# 根室地域での教育旅行誘致のターゲット

- ターゲット ①コース別選択修学旅行を取り入れている私立高校  
「探究」を積極的に取り入れている学校
- ②中標津、釧路、女満別空港に直行便が乗り入れている地域

楽しめるコンテンツ内容と真剣な場を提供するバランスのある行程が必要

## 京都市立西京高等学校の例

- ・国内でも先進的な修学旅行を実施している
- 希望別コース別を採用(7コース)、名称がフィールドワーク、旅行先で人とのふれあいを重視、探究プログラムの導入、道内校との交流
- 北方領土学習、流氷ウォーク体験、探究プログラムの導入
- 先生は引率ではなく付き添い(生徒が主体的に計画)

「北海道教育旅行ガイドブック」は、  
下記サイトよりPDFファイルをダウンロードしてご覧いただけます。



## 北海道教育旅行サイト

「北海道教育旅行サイト」は、教育旅行に役立つ情報を搭載した北海道の教育旅行のポータルサイトです。教育旅行プログラム、事前学習をサポートするコンテンツ、カスタマイズ可能な各種資料、エリアやテーマで検索できるデータベース等を搭載しています。どうぞ、教育旅行の行先検討、提案書作成の資料、事前学習資料としてご利用下さい。



### 搭載コンテンツ

- SDGs学習
- 事前学習プログラム (動画、テキスト)
- 北海道の農山漁村宿泊
- 北海道まち歩きMAP
- 教育旅行プログラム
- おすすめモデルコース
- 市町村観光窓口・救急病院 保健所・消防署・警察署一覧
- チャレンジ北海道王
- 動画で見る教育旅行

## 北海道の教育旅行サポート事業

北海道では、教育旅行をサポートする各種事業を行っています。

- 事前学習アドバイザーの派遣
- 教育旅行関係者の招聘
- 全国各地での教育旅行説明会 など

お問い合わせ／公益社団法人 北海道観光振興機構

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目1番1緑苑ビル1階 TEL(011)231-0941 FAX(011)232-5064

| 北海道教育旅行サイト |

<http://hokkaido-syuryo.com/>



生きる力 学びの、その先へ

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

学習・体験テーマ別  
SDGs目標掲載

# 北海道教育旅行 カスタマイズブック



北海道教育旅行サイト

<http://hokkaido-syuryo.com>



# 北方領土について



第二次世界大戦後、ソ連(現在のロシア)が占領した択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の4つの島を指します。いずれも我が国固有の領土ですが、日本人が島から追い出され、長い年月が過ぎた今でもロシアの実効支配が続いています。

**北海道立四島交流センター ニ・ホ・ロ**

北方領土問題についての国内外の世論を一層盛り上げるとともに、北方四島との交流の促進を図る拠点施設として開設されました。愛称の「ニ・ホ・ロ」とは、日本(ニ)とロシア(ロ)をつなぐ北海道(ホ)の交流拠点を意味します。展望室からは島影を間近に望め、展示室では北方四島の歴史や現状を映像などを通して紹介しています。

- ◆場所/根室市穂巻110-9
- ◆休館日/11月~4月の月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月31日~1月5日)
- ◆開館時間/9:00~17:00
- ◆入館料/無料 ◆問い合わせ/0153-23-6711
- ◆URL/https://www.city.nemuro.hokkaido.jp/leinfo/kakaku/hoppouryoudotaisaku/hoppouyontou/index.html

**関連するSDGs目標**

11 持続可能な都市とコミュニティ	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう
16 平和と公正な社会を築こう	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

## 択捉島



### 羅臼国後展望塔

海拔167mの高台から、国後島の雄大な姿一望することができます。施設内には北方領土問題を解説した展示コーナーがあり、なかでも歴史的経緯や返還運動、北方四島の相互交流の様子などをまとめた映像が上映される映像室があるので、より具体的に史実をとらえることができます。

- ◆場所/目梨郡羅臼町文町32-1
- ◆休館日/11月~4月の月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
- ◆開館時間/9:00~17:00(時期により異なる)
- ◆入館料/無料 ◆問い合わせ/0153-87-4560
- ◆URL/https://www.rausu-town.jp/



### 北方領土館

北方領土啓発施設として設置され、北方領土の歴史、動植物、産業と生活、返還要求運動の歩み、ビザなし交流の歴史が、パネルや立体パネル、はく製などで紹介・展示されています。また、2階の展望室からは国後島をより間近に望むことができます。

- ◆場所/標津郡標津町北2条東1丁目1-14
- ◆休館日/11月~6月の月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
- ◆開館時間/9:00~16:00(時期により異なる)
- ◆入館料/無料 ◆問い合わせ/0153-82-2422
- ◆URL/https://www.shibetsu-town.jp/town/ryoudokan.html



### 四島のかけ橋(望郷の岬公園)

北方領土返還記念シンボル像「四島のかけ橋」は、北方四島を4つのブロックで表現しています。それが連なり合って大きなかけ橋となることで、北方領土返還を祈るゲートとして表現されています。世界の平和を願い北方領土の占拠を許さずとする強い願いと折りの心を伝へ、粘り強く返還運動を続ける決意の象徴となっています。

- ◆場所/根室市納沙布
- ◆問い合わせ/0153-24-3104(根室市観光協会)
- ◆URL/https://www.nemuro-kankou.com/



### 北方領土／望郷の家

日本最東端である納沙布岬にあり、北方領土返還要求の原点地と呼ばれています。「北方領土」では北方領土問題の発生の状況や歴史的経緯を、「望郷の家」では北方領土の歴史と生活が幅広く紹介されています。この二か所は2階建てとなっており、大型スクリーンとパネルでの資料で日常的な歴史を知ることができるため、元島民の心の拠り所にもなっています。

- ◆場所/根室市納沙布36-6
- ◆休館日/月曜(祝日の場合は閉館。5月~10月は観音開帳あり)、年末年始
- ◆開館時間/9:00~17:00(11月1日~2月28日は16:30) ◆入館料/無料
- ◆問い合わせ/0153-28-3277
- ◆URL/https://www.hoppou.go.jp/inform/facilities/

## Navigator

公益社団法人  
北方領土復興期成同盟 参事  
山崎 隆氏



### 「北方領土」とは

北海道の北東洋上に位置する択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島から成る北方四島は、いまだかつて一度も外国の領土になったことのない我が国固有の領土です。択捉島は日本で一番大きな島であり、歯舞群島貝殻島は本土から一番近く、根室市納沙布岬から3.7kmしか離れていません。北方領土の周辺海域は、寒流と暖流が接しているため水産物が豊富で、古くから世界の三大漁場の一つに数えられていました。

### 今なお続く「日ロ領土問題」

日本が「ポツダム宣言」を受諾した後の1945年8月28日にソ連軍は択捉島留別村に上陸し、9月5日までの間に北方四島を占領しました。当時四島全体で1万7千余名の日本人が住んでいましたがソ連軍の占領後、不安から自力で脱出した人もいました。その他の島民は1947年から1948年までに(すべての日本人)北方四島から強制退去させられ、樺太の居住者とともに函館へ送還されました。戦後78年を迎える今日もなお、「領土返還交渉」が続いていますが未だ解決せずロシアの不法占拠が続いています。

### 「領土問題」解決のための環境づくり

「領土問題」の平和的解決に向けて、四島在住のロシア人との友好・信頼関係を築くため1991年から四島交流事業(いわゆるビザなし交流)が始まり、日本への理解は深まってきています。北方領土問題の解決のためには、北方領土問題を正しく理解するとともに認識を深めてもらい、外交交渉の支えとなる国民世論の高揚が必要です。

### 2月7日は北方領土の日

2月7日は、1855年に日露間の国境を択捉島とウルップ島の間に定めた日露通好条約が調印された日です。この条約は、平和的話し合いの結果、北方四島が日本固有の領土であることを両国が初めて正式に確認した歴史的な意義を有する条約です。

政府は1981年1月の閣議において、北方領土問題に対する国民の関心と理解を更に深め、全国的な北方領土返還運動の一層の推進を図るため、毎年2月7日を「北方領土の日」と定められました。

毎年2月7日には北方領土返還要求全国大会が東京で開催されているほか、この日を中心にして全国各地で様々な行事が行われています。

## 学習のPoint

### 事前学習・準備

- 北方領土問題が起こった経緯
- 北方四島との位置関係や大きさ
- 知床が世界自然遺産に登録された理由

### 現地での学び・体験

- 元島民の実体験の講話
- 北方領土を間近で見ると
- 北海道で唯一の世界自然遺産「知床」で、大型の鯨類を観察し体で自然を体感できる

### 事後学習・まとめ

- 戦後、70年以上も返還されていない北方領土の理解を深める
- 世界自然遺産の意義とその必要性を考える